

後方羊蹄山 山行報告書

和歌山県勤労者山岳連盟 紀峰山の会 Ver_20240112
 事務所：〒641-0044 和歌山市今福1丁目1-11 アマノマンション202号

山行報告書提出日	2024年 7月 15日	報告書記入者	Kamisan
山行期間	2024年 7月 4日(木) ~ 年 月 日()		
山名・山域	後方羊蹄山 支笏・洞爺	登山方法	ハイキング 主催グループ らいちよう
山行目的他山行区分	北海道離島目指して～家族旅行かねて～ 後方羊蹄山(シバシマ1898m) 百名山		<input type="checkbox"/> 会山行 <input type="checkbox"/> 公開山行 <input checked="" type="checkbox"/> 自主山行 <input type="checkbox"/> その他山行

参加メンバー

任務	氏名
	Kamisan



ルート図	時刻	場所
花です (イゾカソウ・チシマフクロ・イソノガサケ?)	7/2	自宅出発→フェリー乗船
歩行距離：14.35km	7/3	20 : 45 小樽着→真狩登山口駐車場
高低差：1533m	7/4	05 : 50 登山口駐車場出発(365m)



山行記録 登山口駐車場からの入口→

小樽港到着後まっすぐ真狩コース登山口駐車場へ向かって駐車場で車中泊。すでに5台程先客あり。目覚ましより早く起きて予定より早く登山開始したがペースが上がらず予定時間より時間が掛かる。寝てる間に雨が降ったのか路面は濡れていて、山容は霞の中見えない。念のためスパッツ準備し長丁場を意識し、ゆっくり登りだす。濡れた笹や枝が伸びていて登山道が狭く、次第に濡れてベタベタになる。五合目からは眺望も無く、九合目からは視界は10m程度となる。予定通り火口一周するがペンキだけが頼りの岩場となり難儀する。山頂到着後食事せず下山しながら行動食でなんとか無事下山。とりあえずはメダシ!!



山行中のトラブル 移動時、最後まで不明瞭な山容→

登山者用駐車場30台程度あり。キャンプ場と併設していてトイレもあり。一合毎の道標もあり道迷いの心配無し。登山届は書込み式で下山後下山時間を書込む。前夜の雨のせいか、笹や枝が伸びていて次第に腕とズボンがぬれてベタベタに。スパッツは最初からしていたが長丁場だけに次第に体力奪われたか?



その他感想等 不明瞭な山頂標(展望一切なし)→

梅雨のない北海道と思っていたが、昨年今年とこの期間曇りの日が多いとの事。メインは礼文・利尻と気を取り直し札幌・稚内へ向かう。まったく何処へ登ったか分からない山行となり、火口一周では山頂かと思わせるいくつかのピークと、立ち上がる岩場にしばしルートを探すのに手間取った山行でした。ちなみに歩数は31,800歩でした。



礼文岳

山行報告書

和歌山県勤労者山岳連盟 紀峰山の会 Ver_20240112
 事務所：〒641-0044 和歌山市今福1丁目1-11 アマノマンション202号

山行報告書提出日	2024年 7月 15日	報告書記入者	Kamisan
山行期間	2024年 7月 6日(土) ~ 年 月 日()		
山名・山域	礼文岳 礼文島	登山方法	ハイキング 主催グループ らいちよう
山行目的他山行区分	礼文岳(482m) 新百名山	<input type="checkbox"/> 会山行 <input type="checkbox"/> 公開山行 <input checked="" type="checkbox"/> 自主山行 <input type="checkbox"/> その他山行	

参加メンバー			
任務	氏名	任務	
	Kamisan		
	Kamisanyome		

ルート図	花	時刻	場所	
 <p>登山口 S G 2km地点(標識)</p> <p>礼文町 礼文岳</p> <p>山頂から一瞬見えたスコトン岬↑</p>	右端レブンウスユキソウ	7/5	宗谷岬見学・稚内にて車中泊	
		7/6	06 : 30	稚内発フェリー乗船して礼文島へ
	歩行距離： 8.3km 高低差： 473m			バスにてスコトン岬折り返し登山口へ
			11 : 00	登山口出発(9m)
			12 : 00	2km中間地点(214m)
			13 : 05	礼文岳山頂(482m)
			13 : 20	下山開始
			14 : 20	2km中間地点(214m)
			15 : 10	登山口下山(9m)
				バスにて香深港へ戻り民宿泊
			7/7	桃岩展望台ルートを知床から
				フェリー乗船利尻島へ
				利尻島着ペンション泊

山行記録 翌日の桃岩展望台への散策路(眺望は無いまま両側に花) →
 稚内で車を残し、フェリーで礼文島到着。港近くの今日の宿泊所に荷物を預け、1日フリーバス乗車券購入し北端のスコトン岬見学。15分後折り返すバスに再び乗車し登山口の内路バス停車。準備後礼文岳目指して出発。
 いきなり急登から始まる。登山口の海岸がかろうじて見える。あとはゆるやかに樹林帯を歩き、山頂付近で二度ほどピークを越えて山頂に到着。一瞬晴れて北側の先程バスで行ったスコトン岬と右側の金田ノ岬の湾曲した海岸が見える。島では店舗が無くおにぎり等も売ってないので、仕方なく買ったパンを食べた後下山。往路をピストンする。問題無く下山後もバスの時間まで少し余裕があったので高山植物園を目指す。園までの経路が違い途中下車し残念。レブンアツモリソウは見れませんでした。

山行中のトラブル 登山口の内路バス停 道中の目安中間地点付近
 登山口近くにトイレ有、登山届提出場所見つからず。民家の間に登山口表示あり、分かりやすい登山道。途中山頂までの距離表示あるが正直いい加減でまったく信用出来ず。登りはじめと山頂付近が急登で、途中は変化のない礼文岳。花も翌日行った桃岩付近の方が圧倒的に種類も多くきれいなコースだった。バスの本数が少ないので事前に良く計画しておく事。レンタバイク・レンタカーもあるが要予約。

その他感想等 礼文岳山頂 →
 やって来ました最果ての礼文島。車置いて来てるので融通きかず心配ですが、1日フリーバス券で最北のスコトン岬も行け、下山後高山植物園アツモリソウも挑戦するが時間切れで残念する(宿で食事時隣の方に写真拝見する)。翌日最南の知床から桃岩を通して港までトレッキングし、北から南まで全島網羅し満足。出来れば晴れて欲しかったと思いながら、今回も歩数16,700歩。



利尻岳 山行報告書

和歌山県勤労者山岳連盟 紀峰山の会 Ver_20240112
 事務所：〒641-0044 和歌山市今福1丁目1-11 アmanoマンション202号

山行報告書提出日	2024年 7月 15日	報告書記入者	Kamisan
山行期間	2024年 7月 8日(土) ~ 年 月 日()		
山名・山域	利尻岳 利尻島	登山方法	ハイキング
山行目的他 山行区分	利尻岳(1718m) 百名山	<input type="checkbox"/> 会山行 <input type="checkbox"/> 公開山行 <input checked="" type="checkbox"/> 自主山行	
		<input type="checkbox"/> その他山行	

参加メンバー

任務	氏名
	Kamisan



ルート図



山中出会った花・花・花↑ ↗ ↓

歩行距離：12.96km
 高低差：1498m



時刻	場所
7/8 04:45	ペンション出発
05:00	北麓野営場登山口出発(220m)
06:25	六合目(746m)
08:50	長官山・八合目(1218m)
10:05	九合目(1410m)
11:10	利尻岳北峰山頂(1719m)
12:40	避難小屋まで下山し食事(1232m)
14:30	六合目(746m)
16:10	北麓野営場登山口下山(220m)
:	宿の出迎えて宿泊所へー宿泊
7/9 :	レンタカーで利尻島一周後フェリーで稚内へ
7/10 :	札幌~小樽で帰りのフェリー乗船
7/11 :	舞鶴着一帰宅

山行記録

北麓野営場登山口の車道の車止メー

今回の最大の目標利尻岳挑戦。羊蹄山の事も有り8時頃から曇りの天気予報にも雨具着て出発。脱ぐか？着ておくか？迷いながらの登り。ギリギリ4時間以内で長官山迄。避難小屋で上だけ脱いだがすでにズボンの裾は泥だらけ。今更スパッツでもと思ふ雨具のズボンは履いたまま。お陰でズボンの裾を踏んでいて裂けてしまっていた。九合目迄来てまだ300m登る。その長い事、長い事。幸いにも、強風も無く、九合目過ぎてからのガレ場の道も、木の階段とかチューブの土留めとかで整備されていて、制限時間10分オーバーでしたが、何とか登れて感謝！感謝！の三連山行となりました。予備日に1日設けていましたが、島からの帰り札幌の藻岩山にも寄り道出来まして、1日早めのフェリーに変更して帰宅も出来ました。早く帰ってもダラダラしていますが・・・



山行中のトラブル

利尻岳北峰山頂までの最後の登りー

登山口近くにトイレ・登山届提出箱有。一合毎の表示の有る、分かりやすい登山道。4時間で長官山・八合目、そこから2時間で山頂迄つかない場合は無理をせず下山するよう送ってもらったペンションの主人に言われる。今回はギリギリセーフか？登山口から霧雨で雨具も着けない登山者も多い中、雨具を着て登ったがなぜか、スパッツを着けなかったので下半身ドロドロになり、ズボンの裾も踏んでしまっている状態。朝から雨が止む予報を信じて中途半端な判断となってしまった。



その他感想等

北峰山頂ー

1週間の内に二座1500mの高低差の山に挑戦の計画。こんなチャンスは二度とないとの北海道遠征でした。天候には恵まれませんでした何とか走破。おまけに札幌藻岩山も寄れて登山バッチ4個ゲットのうれしい山行となりました。ちなみに今回も歩数31,300歩で、和歌山から車の走行は計1,855kmでした。

